

## ■ グローバル・ラウンジがオープン

2013年3月28日、多摩キャンパスのヒルトップ'78 2階にグローバル・ラウンジがオープンしました。学内における異文化交流の拠点として、留学情報や国際交流、異文化を知る機会を提供しています。オープン当日には、本学の古くからの協定校であるタマサート大学（タイ国）とテレビ会議回線をつなぎ、また、新たな協定校であるハワイ大学の関係者を招いての記念セレモニーも行われました。



このラウンジの大きな特徴は、9面マルチディスプレイを設置していることです。KBS（韓国語）、NHK BS（日本語）、アルジャジーラ（英語）、TV5MONDE（フランス語）、CCTV（中国語）、BBC（英語）、CNN-J（英語）、CNN-US（英語）、中大コンテンツが常時放映されており、自由に視聴することができます。

また、ラウンジ後方に設置されたタッチディスプレイ（Press Display）では、世界1,700紙以上の新聞の閲覧も可能です。

グローバル・ラウンジには、英語学習アドバイザーも常駐しており、学生たちの留学や外国語学習などに関する相談に応じています（予約制）。学生企画による留学生との交流イベントや異文化理解のためのセミナー、語学の勉強会なども随時開催され、毎日、多くの学生たちでにぎわっています。

## ニューヨーク市立大生が中央大学を訪問

5月29日、外務省による学生交流プログラム「KAKEHASHI Project」の一環で、ニューヨーク市立大学（City University of New York: CUNY）の学生46名が中央大学多摩キャンパスを訪問しました。

一行はバスで到着後3号館へ。河西良治文学部長による歓迎の挨拶の後、CUNY生と中大生それぞれがスピーチを行いました。

その後は、文学部の田中ちよこ兼任講師、増田直子兼任講師、須藤彩子兼任講師、須永美奈子兼任講師、商学部の栗原文子准教授の5クラスに分かれて交流授業を実施。最初はやや緊張気味だった学生たちも、少人数グループでのディスカッションが始まると、すぐにUCNY生たちと打ち解け、どのクラスで

も笑顔の輪が広がりました。

約50分間の交流授業は瞬く間に過ぎ去り、別れを惜しみながらも一行は11号館前へ。最後に教員も交えて全員で記念撮影を行いました。約2時間という短い滞在ではあったものの、CUNY生にとっても中大生にとっても、有意義な体験となりました。



11号館前で記念撮影！ 学生たちのよい思い出に